

地域ごとのまちづくり計画

宝塚市良元地区まちづくり協議会（良元コミュニティ）



令和2年(2020年) 3月策定

もくじ

【はじめに】	1
【現状と課題】	1
【 ^{ま ち} 地域の将来像】	2
【基本目標】	3
【具体的な取り組み】	6
【あとかき】	13

良元コミュニティ まちづくり計画書

2020年3月策定

【はじめに】

平成17年度に策定した「まちづくり計画書」は、当時の良元地区まちづくり協議会の熱い思いや高い志を感じる貴重な計画書でした。その計画書に沿って、良元地区まちづくり協議会は、活動を続けてきました。しかし、14年の歳月が流れ、私たちを取り巻く環境も変わりました。以前のままの活動を続けることの困難さを実感しています。

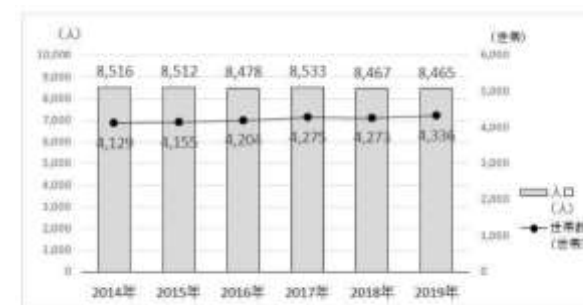
今回の計画見直しは、宝塚市第6次総合計画策定と並行して進めてきました。これからもこのまち「良元」でより良く暮らしていくためにも、今回の新しい「まちづくり計画書」が、住みよいまちになる一助になることを心から祈念して、提案します。そして、正に時代の変わり目、次世代への世代交替となる、未来に向けた10年後に活動する方々へのメッセージとして送ります。

【現状と課題】

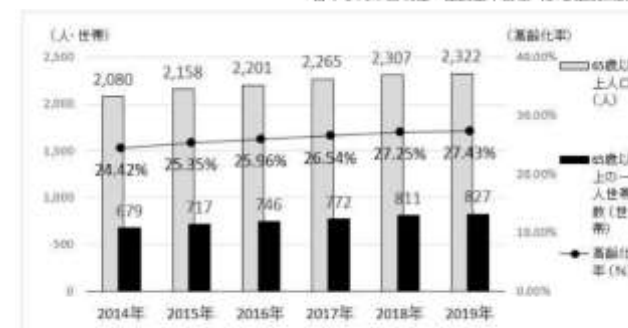
良元地区は、南北約1.5km、東西は400m～600mと南北に長い長方形で、良元小学校がほぼ真ん中に位置します。宝塚神社や平林寺などの社寺があり、古くからの歴史と伝統を育み、守ってきた地域です。阪急小林駅があり、下町の雰囲気をつくる商店やイズミヤなどの商業施設、西公民館やくらんど人権文化センターなどの施設は、人との交流の場となっています。また、小林聖心女子学院周辺には貴重な自然があります。地域の南北には旧県道(逆瀬川仁川線)が通っており、道路幅が狭いことから、歩行者の安全が十分に確保できていない箇所もあります。その他の道路も車の通行量が多く、一般の歩行者の安全だけではなく、登下校の子どもたちの安全の課題となっています。

良元地区の人口は8,465人(2019年3月現在)で、少しずつ減少しています。一方で高齢者の人口は増加傾向にあり高齢化率は27.4%(2019年3月現在)となっています。まちづくり活動をしている人も高齢化がすすみ、担い手不足が課題となっています。今後は、平日の活動とは別に土日組など若い人たちも参加できる仕組みや現在実施している事業の在り方を検討していくことが必要となります。また、各分野の事業所や隣接するまちづくり協議会、自治会などとの連携を通じて地域資源を活用していく必要があります。

本計画見直しに当たり、アンケート調査で「良元地区のお宝」「10年後どんなまちになったら良いか？」を自治会、良元小学校児童の保護者、良元小学校4～5年生に聞きました。



各年3月末日現在 住民基本台帳(まち協別集計)



各年3月末日現在 住民基本台帳(まち協別集計)

自治会員や保護者から「お宝」は、「地域の方が活発であり、みんなが協力的であること」「あいさつができるなど、人の温かさを感じられるところ」「住みやすいところ」などの回答が多くありました。子どもたちからは「文化やイベント」に関する回答が多くありました。歴史・文化や自然環境などを守っていくと同時に、これからも人の温かさを知る「人との交流」の機会を大切にしていくことが課題です。

「10年後どんなまちになったら良いか？」についての回答は、後述する「基本目標」の設定の参考にしました。

【^{ま ち}地域の将来像】

目指す目標はこれからも引き継いでいくことが大切であると考え、平成17年に策定した「良元コミュニティまちづくり計画書」に引き続き、以下の4つの将来像を掲げます。

世代を超えてつくろう住みよいまち「良元」^{りょうげん}

人に優しく自然に優しいまち「良元」^{りょうげん}

地域でふれあういつも笑顔のあるまち「良元」^{りょうげん}

みんなでつくろう安心のまち「良元」^{りょうげん}

【基本目標】

アンケート調査の「10年後どんなまちになったら良いか？」の回答を参考に6つの分野に分けて基本目標を設定しました。

1 歴史と文化を育むまち

各地域団体や社寺の良元らしい活動・事業などを大切にしていき、歴史や地域の活動を守っていくと共に、育むことを目指します。



花ランドまつり（左から：小林地車保存会鳴り物、和太鼓集団「熱光」）

2 人々が集う賑わいのあるまち

三世代交流の機会をつくるとともに、人材育成を検討し、商店街などと協力し、阪急小林駅前周辺整備事業なども協議しながら、にぎわいのあるまちを目指します。



左から：ふれあい運動会（玉入れ）、花ランドまつり（宝塚第一中学校吹奏楽部演奏、焼きそば）、ちびっ子縁日（スーパーボールすくい）

3 助け合える暖かいまち

まちづくり協議会や自治会、地域の各種団体や各分野の事業所などとも連携し、高齢者や子ども、障がいのある方など、みんなが交流できるまちを目指します。



左から：お食事会（手話「春の小川」）、喫茶すみれ（良元幼稚園児と七夕まつり）、福祉施設見学、親子でクッキング

4 安心・安全なまち

防災意識の向上や子どもの安全見守りを進めるために、まちづくり協議会や自治会、地域の各種団体が連携しながら、もしもに備えた勉強会や訓練など、安心安全なまちを目指します。



左から：防災ウォークラリー、住民避難訓練、アトム110番連絡所勉強会



左から：道路環境等勉強会、タウンウォッチング、防災講演会

5 健康づくりのまち

各世代にあった事業内容を検討し、住民の健康維持と向上を目指します。



上：ふれあい運動会（大玉転がし） 下・左から：ハイキング、健康スポーツ教室、生活習慣病予防料理教室

6 花と緑があふれるきれいで快適なまち

現在の緑化活動に加えて、勉強会などを通して地域の中にある貴重な緑地環境の情報発信を行います。また、地域の各種団体と協力して、地域の美化を目指します。



左から：小林駅前花壇整備、ファミリープランター制度（阪急小林駅前花壇、良元小学校 PTA 室前花壇）、寄せ植え講習会

【具体的な取り組み】

基本目標ごとの課題や活動に対する方向性については、【資料】の基本目標別課題等の整理を参照してください。

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）
					20 年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
						21 年	22 年	23 年	24 年					
1. 歴史と文化を育む まち	1	和太鼓集団「熱光」やだんじり鳴り物の発表の場を提供する	○							○				
	2	良元の宝物を知る機会をつくる		○							○			他の分野とも関連して企画する（健康・自然保護）
	3	地域のイベントをPRする	○							○				掲示板、ホームページのリンク活用
	4	小林聖心女子学院・宝塚神社・平林寺の自然環境の保全と協力	○								○			
2. 人々が集う賑わいのあるまち	阪急小林駅周辺を含む地域活性化													
	1	小林駅周辺整備事業の推進へ要請 小林駅周辺の付加価値対策の検討	○									○		
	2	市との情報交換会の実施	○									○		
	3	推進体制と検討会議開催	○									○		
	4	周辺地域の協議体の再編成	○									○		
	5	地域内の計画道路整備の進捗状況把握	○									○		* 荒地西山線 宝塚池田線
	時代に合ったまちづくりの推進													
	6	三世代が交流できるイベントの開催	○								○			
	7	地域と商店街との交流を深める		○							○			小林商栄会との協力
	8	商店街の空き店舗を利用した地域の居場所づくり（情報交換の場）の検討		○							○			
	9	既存行事の発展的な統廃合（1本化）		○							○			* 花ランドまつり

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）
					20 年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
						21 年	22 年	23 年	24 年					
3. 助け合える暖かい まち		による内容充実と負担軽減）検討												ふれあい運動会・ お食事会 等
	10	平日活動から、土・日・祝日体制 への見直し		○							○			*ファミリープラン ター制度 等
	11	働いている世代が活動できる体制 づくりをすすめる	○								○			
	人材育成													
	12	コミュニティ活動拠点の確保と展 開（小学校・商店街）		○							○			
	13	S N Sでの情報発信と収集促進	○								○			※Facebook、Twitter、 Instagram等の活用
	14	身近なI T機器での簡単な操作が 進んだ時代への対応	○								○			*勉強会等
	1	私たちが住んでいる地域を知る （身近な施設、催し等見学・研修）	○								○			*施設見学
	2	地域内の福祉施設との交流と連携 花ランドまつり等で施設・事業PR し、相互理解と地域交流を進める		○							○			*花ランドまつり 等
	3	高齢者だけでなく、子どもや障が いのある方も気軽に参加できるサ ロンの取り組み。また、サロンでの 仲間づくり、生きがいづくりを進 めていく。	○							○				*喫茶すみれ 介護予防教室
	4	3世代交流ができる行事等を企画 する。子どもと大人と一緒に楽し める催しを企画する。		○								○		*親子料理教室
	5	地域の高齢者の孤立化防止と地域	○								○			*お食事会

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）		
					20 年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政	
						21 年	22 年	23 年	24 年	25 年						
		ボランティアとの交流、ふれあいを図る														
	6	福祉人権に関する学習会を企画する	○										○		*手話講座 福祉学習会	
	7	世代を超えた地域見守り活動 （子育て支援や子どもの見守り）		○							○				*子育てサロン 学習会	
	8	認知症サポーター養成講座の実施		○									○		社協との連携	
	9	子ども食堂への協力の検討と実施		○									○			
	10	地域ができる学校支援を検討する		○									○			
	11	P T Aとの意見交換会		○							○					
	12	中学生の活躍の場を検討(防災・イ ベント運営など次世代リーダーの 育成)		○							○					
	13	地域の課題について、コミュニテ ィ、自治会、各種団体、行政、事業 所等が情報共有や意見交換する場 をつくる	○											○		*ネットワーク会議
4. 安心・安全なまち	防災															
	1	防災マップの見直し		○									○			
	2	防災時対応計画の作成		○									○			
	3	地域の防災力を増す勉強会の開催	○											○		
	4	防災リーダー研修の参加	○											○		
	5	防災訓練の実施 ・避難所へ行く避難訓練 ・避難所に着いてからの訓練	○										○			
	6	防災訓練の内容の見直し	○									○				
	7	避難所の常備品、簡易ベッド、毛	○											○		

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）
				20 年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21 年	22 年	23 年	24 年					
	布やトイレ対策の情報を集める												
8	土砂災害警戒区域のレッドゾーン指定による対策を進める地元との連携協働を図る		○							○			
9	他地域との連携を図る		○							○			
10	小学生の防災教育の実施に協力する。	○								○			*ウォークラリー
防犯													
11	地域の子どもと顔見知りになる機会を増やす	○							○				
12	あいさつ運動をすすめる	○							○				
13	防犯カメラの増設をすすめる	○									○		
14	街路灯（夜間の照明）の設置をすすめる	○									○		
15	アトム 110 番連絡所の定期的な情報交換の場を作る	○									○		
16	アトム 110 番連絡所の場所を見直し、空白地域がないように設置を働きかける		○								○		
17	アトム 110 番連絡所利用の模擬体験を実施する		○							○			
18	すみれマップ良元版を更新し、各所にすみれマップを設置する		○								○		
19	防犯パトロール実施グループの連携と情報共有を図る		○							○			
20	自治会や近隣で、日常の生活の中で、子どもの見守り活動を行う	○							○				

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）
					20 年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
						21 年	22 年	23 年	24 年					
	道路環境等													
	21	地域内の危険箇所などについて、行政と自治会、コミュニティ、学校、PTAが合同で現地確認する	○									○		*タウンウォッチング
	良元らしい安心安全なまちづくり													
	22	地域の危険箇所等の情報をコミュニティで共有し、提案する		○								○		
	23	福祉事業所との協力を図る	○								○			
	24	地域全体の防災意識を高めるため、初心者向けの防災訓練・講演会の経験を増やす	○							○				*防災講演会 防災訓練 HUG訓練
	25	手作りで親しみやすい講座等の企画をする	○							○				
5. 健康づくりのまち	26	社会的少数派の方の防災を考える	○								○			
	1	地域住民の健康維持・向上を図る	○							○				*健康スポーツ教室 料理教室(生活習慣病予防) ハイキング
	2	いきいき百歳体操、ラジオ体操などの簡単な体操に関して実施会場を増やす	○							○				*いきいき百歳体操
	3	スポーツクラブ 21 良元との連携	○							○				
	4	子どもからお年寄りまで、世代に合った楽しいプログラムを検討する		○						○				*ハイキング
6. 花と緑があふれる きれいで快適なまち	景観保全活動													
		行政との連携												
	1	市公園河川課との定期情報交換会		○								○		*勉強会

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）
					20 年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
						21 年	22 年	23 年	24 年					
		の開催（2回/年）												（公園整備・不法投棄等
		小林聖心女子学院との連携												
2		「文化財施設見学会」「伝統的建造物学習会」の継続と音楽会、自然観察会等への拡大発展	○								○			
3		環境林保護のため宝塚自然保護協会の生物調査等の実施	○									○		
4		土砂災害特別警戒区域指定（2019.05.31付）工事による環境観察		○								○		
5		土砂災害特別警戒区域における地域住民との対策の合意		○								○		
6		土砂災害特別警戒区域における大口地権者との対策の合意		○								○		
環境美化活動														
		コミュニティ花壇												* 小林駅前花壇整備
7		花壇の植栽・整備	○							○				
8		「ファミリープランター制度」の導入と推進	○							○				
9		民間助成金への応募	○							○				
10		平日作業と土日作業の専用年間活動計画の策定	○							○				
11		コミュニティ花壇のPR。花壇にひとことコメント看板作成		○						○				
12		オリジナルプランターの作成		○						○				
13		小学生にファミリープランター募集と見学会の案内配布		○						○				
14		良元コミュニティ掲示板に提示		○						○				

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考 （一部活動事例）
					20 年	第 6 次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
						21 年	22 年	23 年	24 年					
	15	寄せ植え講習会の HP 募集、次世代の参加	○							○				* 寄せ植え講習会
	16	花屋とコラボ 植栽入門		○						○				* 寄せ植え講習会
	17	P T A 花壇で親子プランター		○						○				
		まちかど清掃												
	18	良元コミュニティ主体のまちかど清掃日の仕組みの検討		○							○			児童、生徒、P T A、自治会、まち協、各種団体
	19	市の春秋一斉清掃日のタイミングで、実施日と重点エリア等の調整推進		○								○		* 市民一斉清掃
	20	環境美化啓発ポスターを募集し、掲示板、学校、ホームページに掲載		○								○		
		公園内清掃(たばこ、犬のフン等)												
	21			○						○				ユアイクラブ年 2 回清掃(小林公園、桜公園、梅公園)中野町双葉自治会(中野緑地)
	次世代の人材育成													
		S N S の活用												
	22	環境美化部ホームページの充実 募集記事、予定記事、お役立ち情報等の情報発信頻度・密度の向上	○							○				
		研修/学習												
	23	ファミリープランター主催、植物園等の見学会		○						○				

【あしがき】

「まちづくり計画の見直し」にあたり、現状を把握していく中で、取り組むべき課題の多さや、知識不足、解決の糸口を探る難しさを実感しました。また、良元地区まちづくり協議会だけが、計画を進めていくのではなく、多くの地域住民や行政、隣接するまちづくり協議会などとの協力が必要であることも改めて感じました。今回、各種勉強会やアンケート調査の為に、ご協力いただいた宝塚市、宝塚市社会福祉協議会、良元小学校、PTA、公共施設、福祉事業所など多くの関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。計画書提出が最終目標ではありませんので、地域一体となって、「住みやすいまち良元」実現の為に、活動を続けていきたいと思っています。

【資料】

●計画見直しまでの流れ（月に1度役員会の中でまちづくり計画策定委員会を立ちあげ、検討し、必要に応じて臨時に作業部会を開催した）

		現行計画の進捗状況の確認、 現状の課題の確認、地域情報収集	勉強会、 意見交換会	まちづくり計画見直し
平成 30 年	6 月～	コミュニティ事業等の見直し		
平成 31 年	1 月～	地域資源の発掘(学校・幼稚園・地域福祉事業所・郵便局・コンビニ等へアンケート調査)		
	2 月～	良元地区はどんなまち？どうなってほしい？(学校児童・保護者・自治会・地域住民などへアンケート調査)		
	4 月～			地域の将来像と基本目標のとりまとめ
令和 元年	6 月	タウンウォッチング(危険個所の確認など)	アトム 110 番連絡所勉強会	↓ 具体的な取り組みを検討 ↓ 計画の素案の作成と理事会での承認 ↓ まちづくり計画を住民へ周知 ↓ 宝塚市へまちづくり計画書提出
	7 月		道路環境等整備勉強会	
	8 月～			
	9 月		これからの世代との意見交換会実施(小学校 PTA)	
	11 月			
令和 2 年	1 月		計画の意見交換会	
	3 月			

●計画策定メンバー

<平成 29 年度～30 年度>	会長 : 中 義昭	副会長 : 友金 仁、柴田 正雄、古村 福子、平田 武二
	福祉部 : 浅野 公子、松井 陽子	健康部 : 稲田 淑子
<令和元年度>	事務局 : 白津 朋子、岡本 かおる	
	＜宝塚市 地域推進担当次長＞岡本 勝幸	
	＜コンサルタント＞関西総合研究所 是枝 加奈子、OM 環境計画研究所 大森 淳平（敬称略）	
<令和元年度>	会長 : 中 義昭	副会長 : 田中 博見、友金 仁、古村 福子、平田 武二
	福祉部 : 浅野 公子、松井 陽子	健康部 : 稲田 淑子
	環境美化部 : 下田 千恵	事務局 : 白津 朋子、岡本 かおる
	＜宝塚市 地域推進担当次長＞岡本 勝幸	＜宝塚市社会福祉協議会＞針生 麻菜美
	＜コンサルタント＞関西総合研究所 是枝 加奈子（敬称略）	

●基本目標別課題等の整理

基本目標	①歴史と文化を育むまち 伝統文化や良元ブランド、良元らしさを大切にしていく	
良い点	・ だんじりや盆踊りなどのお祭り・イベントがある。 ・ 平林寺や宝塚神社、小林聖心女子学院があり、地域の歴史がある。 ・ 毎年夏に平林寺で、「小林的杜サマーコンサート」が開催されている。 ・ 毎年秋に、小林聖心女子学院で国指定有形文化財の校舎などの一般公開が行われている。 ・ 和太鼓集団「熱光」の活動がある。	
課題	・ 昔からある行事を続けてほしい	
アンケートより	【どんなまちになったら良いか？】 ・ 伝統ある古き良きまち(小学生) ・ 伝統も残しつつ新しい綺麗なまち(小学生) ・ 地車が続いてほしい(保護者) ・ 人権を尊重することで自然とよりそえるまち(保護者) ・ 伝統を守りつつ、時代の流れにあった新しい事業もできるまち(保護者) ・ もっと気軽に子どもたちが参加でき、親子で楽しめる地区(自治会)	
現在の活動	地域	だんじり(地車曳行)、もちつき大会、盆踊り、中野公園桜まつり 小林的杜サマーコンサート、宝塚神社のえびす大祭・夏祭り・秋祭り 平林寺の花まつり
	他団体	
	コミュニティ	良元小学校区安全防災探検ウォークラリーで地域の資源を紹介
活動に対する方向性	・ 良元らしさを大切に、地域の活動、お祭りをみんなで共有していく。	

基本目標	②人々が集う賑わいのあるまち 阪急小林駅前や商店街の活性化 ・ 活動拠点 ・ 人材育成	
良い点	・ 阪急小林駅があり、交通の便が良い ・ 小林商栄会が主催の「ちびっ子縁日」が開催される	
課題	・ 阪急小林駅周辺整備事業が計画されているが、進展していない。 ・ 3世代が交流できる場が必要である。 ・ 現在、コミュニティの活動拠点がなく、小学校の施設を利用できる様にしてほしい。(令和元年5月空き教室が音楽隊の練習がない日は使用できるようになった) ・ 平成30年度末に小林地域包括支援センター・地区センターが移転となった。 ・ 活動者が高齢化しており、新たな担い手が必要である。	
アンケートより	【どんなまちになったら良いか？】 ・ イベント、お祭りがあるまち(小学生、保護者、自治会) ・ 楽しいまち、笑顔なまち(小学生、保護者、自治会) ・ にぎやかできれいなまち(小学生) ・ 若い人が活躍できるまち(自治会) ・ 駅前の整備について…自転車置き場の整備、交流できる場、タクシー乗り場、阪急小林駅周辺にまとまりがある ・ 都市計画道路荒地西山線の早期完成(自治会)	
現在の活動	地域	
	他団体	・ ちびっ子縁日
	コミュニティ	・ ふれあい運動会&良元まつり ・ 良元コミュニティ花ランドまつり
活動に対する方向性	・ 阪急小林駅周辺整備事業について、コミュニティや利用地域住民も協議に参加する。 ・ 商店街との積極的な交流により、地域の課題を共有し、地域活動へ活かす。 ・ 3世代交流の機会をつくるとともに、各事業ではテーマ(例：子どもの見守りなど)を設けて、各課題の解決にむけて取り組む。また、活動を通して避難場所を知る機会とする。 ・ 活動する人の固定化や高齢化が進む中で、今後の活動の可能性を考え、各種事業の見直しや1本化を検討していく。働いている人たちも活動に参加しやすい体制をつくり、情報発信やIT技術の発展など時代の変化に対応していく。 ・ 活動者を日々の活動の中で勧誘していく。	

基本目標	③助け合える暖かいまち 世代を超えて、居場所づくりや見守りを行い、助け合えるまちづくり	
良い点	- すでに地域の数カ所でサロンが実施されている。そんぽの家[※]宝塚小林的施設内でもサロンを開催しており、施設居住の人も地域の一員として捉えて交流ができている。 - 障がいを持った子どもたちとも仲が良い	
課題	- 障がいのある方も参加でき、意見が言えるコミュニティづくり - 緊急時の高齢者、ひとり暮らし、障がいのある方、支援を必要とする方たちの見守り「災害時要援護者支援制度」を進めている自治会もあるが、取組み度合いに差がある。 - 今後も魅力あるサロンを目指す。	
アンケートより	【どんなまちになったら良いか？】 - なかよしのまち、笑顔のあるまち、優しいまち(小学生、保護者、自治会) - 子どもから高齢者まで幸せにくらせるまち(小学生) ・子どもと高齢者、みんなが気軽に集まれる場所がある(保護者)	
現在の活動	地域	・サロン(市営中野住宅集会所・塔の町会館)
	他団体	・民生委員・児童委員・自治会・老人会・バラホーム(子ども食堂)・ほっこり湯(子ども食堂)
	コミュニティ	・サロンを3カ所で開催(小林会館、くらんど人権文化センター、そんぽの家[※]宝塚小林) ・お食事会 ・みんなの料理教室 ・福祉学習会(手話教室等、福祉・人権に関する学習会) ・施設見学 ・介護予防教室
活動に対する方向性	・地域内の福祉事業所と交流・連携していきたい。 ・親子料理教室など、子どもや大人が一緒に楽しめる企画とする。 ・高齢者だけではなく、子どもや障がいのある方も気軽に参加できるサロンを目指す。 ・福祉部と活動の共通点がある部会との共同・企画(目的・イベント)を検討する。 ・3世代交流の機会をつくるとともに、各事業ではテーマ(例：子どもの見守りなど)を設けて、子育て支援や学習会支援等、各課題に取り組む。 ・サロンや学習会等に参加することによって地域の避難場所を知る機会とする。 ・地域ができる学校支援を検討する。 ・子ども食堂の展開と協力を検討する。	

基本目標		④安心・安全なまち -1 防災	
良い点		・防災ウォークラリーでは、良元小学校 4 年生が地域の防災ポイントを見て回り、地域を知る機会となっている。 ・防災訓練では、車椅子や目の不自由な人の立場になり、課題を確認している。 ・そんぼの家®宝塚小林と地元自治会が防災等に関する協定を結び、協力している。	
課題	全体	・地域の人に安心安全のまちづくりの啓発活動を知ってもらえていない。 ・外国人を親に持つ子どもの生活が気になる。	
	防災	・防災マップ(平成 24 年)の見直しが必要 ※ブロック塀の危険箇所、市民トイレ、医療機関、AED ・災害時要援護者支援制度の活用が難しい。 ・災害時の社会的少数派の方への配慮を考える必要がある(避難所のトイレなど) ・防災訓練は、平成 24 年ごろから小学校で地域自主防災訓練が行われているが、小学校主導ではなく、地域主体で実施することが求められている。 ・避難所で対応する市の職員がトイレの場所や毛布の有無など、その施設をよく知らない場合がある。 ・大きな被害が今までに少なかったため、避難に対する認識が低い。また、避難のタイミングが分かりにくい。 ・地域内に断層があり、阪急電車今津線山側のがけ地が危険である。	
アンケートより		【どんなまちになったら良いか？】 ・みんなで協力しあえるまち(小学生、保護者、自治会) ・災害による被害が少ないまち、訓練や公衆電話を増やしてほしい(小学生)	
現在の活動	地域	・自治会 自主防災組織 ・見守りチーム(塔の町自治会)	
	他団体	・民生委員・児童委員	
	コミュニティ	・安心安全のまちづくり委員会 ・防災ウォークラリー ・住民避難訓練・自主防災訓練 ・防災講演会	
活動に対する方向性		・日頃からあいさつをしたり、協力体制をつくり、もしもに備える(防災・防犯) ・コミュニティと行政の連携で防災・防犯に対する情報交換の場を設ける。 ・初心者向けの講演会を繰り返し行い、防災の啓発を進めていく。 ・防災環境の充実(自治防災組織の機能点検・防災リーダー研修・防災リーダーのネットワークづくり、自主防災用具の定期点検) ・災害時の役割を決めておくなど、災害時のマニュアルを考える。 ・防災等について、必要な情報が何か定期的に見直すシステムをつくる。	

基本目標		④安心・安全なまち -2 防犯	
良い点		・地域で子どもたちの見守りをしている。 ・アトム110番連絡所で、蜂が怖くて逃げ込んだ子に対応した家がある。 ・アトム110番連絡所の他にも「こども110番の歯科医院」など、見守りをしているところがある。	
課 題	防犯	・アトム110番連絡所が形骸化している。 ・看板が薄くなり見えづらくなっている ・子どもの目線で分かりやすいところに設置されていない ・声かけ事案が発生しているが、罪を犯していない為、見守り活動しか現状できない。 ・夜に時々、商業施設で子どもを見かける。 ・各自治会で防犯パトロール等を行っているが、情報を共有できていない。 ・防犯カメラが設置されているが、看板が小さい。	
アンケート より		【どんなまちになったら良いか？】 ・犯罪や事故がない安全なまち(小学生、保護者、自治会) ・夜でも、もう少し明るくなるように街灯を増やしてほしい(自治会)	
現在の活動		地域	・地域ふれあいの会小林交番班
		他団体	・補導委員 ・アトム110番連絡所
		コミュニティ	・安心安全のまちづくり委員会
活動に対する 方向性		・日頃からあいさつをしたり、協力体制をつくり、もしもに備える(防災・防犯) ・コミュニティで防災・防犯に対する情報交換の場を設ける。 ・登校時間に家の前を掃除したり、学童の帰る時間に犬の散歩をするなど、普段の生活から見守りを行い、子どもたちとも面識を持つように心がける。 ・子どもの見守りについては、地域とPTAがスクラムを組む ・防犯環境の充実(防犯カメラ・夜間照明・アトム110番連絡所)と周知(P R) ※防犯カメラ等必要な場所の検討、及び設置の要望 ・防災用公衆電話の確認と周知	

基本目標		④安心・安全なまち -3 道路環境等
良い点		・良元小学校前のスクールゾーンは、平成 18 年 2 月から時間設定が長くなった
課題	全体	・旧県道は道幅が狭く、安全な歩行者空間が確保されていない。 ・駐車しないためにステップを設けたが、歩道に凸凹があり、歩道も狭く車椅子やベビーカーなど通りにくい道となっている。 ・交通量が多い交差点などに横断歩道が設置されていないところがある。 ・仁川台ルート of 道の点滅信号機が撤去される ・セットバックが進められているが、未だ不十分である。 ・道路標識や看板、スクールゾーンの塗装など、角度が悪かったり、色が薄くなっている箇所がある。 ・小林商店街(南側)の歩道が設置されていない。 ・不法駐車(イズミヤ西側、中野住宅前)がある。
アンケートより		【どんなまちになったら良いか？】 ・犯罪や事故がない安全なまち(小学生、保護者、自治会) ・交通ルール(人、自転車、車)が守られるまち(自治会)
現在の活動	地域	登下校の旗当番
	他団体	登下校の旗当番
	コミュニティ	
活動に対する方向性		・旧県道(市道逆瀬川仁川線)の安全な歩行空間の確保 ・都市計画道路荒地西山線が完成するまでと完成後の安全確保 ・看板等や道路標識を利用者が見えやすいように改善していく。

基本目標		④安心・安全なまち -4 良元らしい安心安全な取り組み	
良い点		・ 防災訓練、防災講演会、防災ウォークラリーなどにおいて手作りの良さを生み出してきた ・ 地域全体の防災意識を高めるため、初心者向けの講座や訓練を開催し多くの人に防災や防犯などを考えるきっかけをつくった。 ・ 防災訓練での車椅子体験やアイマスク体験などを通して、社会的少数派の方の防災について考える機会をつくっている	
課題	全体	・ コミュニティ、自治会、各種団体が危険箇所など安全についての情報共有の体制づくり	
現在の活動		地域	
		他団体	
		コミュニティ	防災講演会、防災訓練
活動に対する方向性		・ 住民に講演会や防災訓練等に参加してもらい、肌身で感じた経験者を増やしていき、計画に反映する ・ 地域、学校、行政が連携し、情報共有をするとともに、対応策を検討する ・ 福祉事業所や商店街などとの連携を考える	

基本目標	⑤健康づくりのまち	
良い点	・スポーツクラブ 21 良元とコミュニティが連携し協力しあっている。	
課題	・スポーツクラブ 21 良元の活動は内容がハードのものもあり、コミュニティと一緒にする際はハードルを下げた内容としている。 ・健康スポーツ教室は種目が 1 つではないため、同じスポーツを続けたい人にとっては、参加が続けにくい。(例：卓球・バトミントンなど) ・いきいき百歳体操には元気な方も来てほしいが、高齢者の中でも若い層が参加せず、高齢化している。 ・福祉部の料理教室と健康部の料理教室を合同にしてはどうかという案が出ているが、目的が違うため別で実施している。 ・いきいき百歳体操の参加者は女性が多く、男性の参加者が少ない。 ・現在は高齢者の健康推進のための事業が主になっている。各世代にあった事業内容を検討する必要がある。	
アンケートより	【どんなまちになったら良いか？】 ・遊べる場所(ボール遊び、各種スポーツ)があるまち(小学生) ・もっと老人が気楽に参加できるものがあれば良い(自治会)	
現在の活動	地域	・いきいき百歳体操 ・ラジオ体操
	他団体	・スポーツクラブ 21 良元の活動 ・ほっこり湯(いきいき百歳体操)
	コミュニティ	・ふれあい運動会&良元まつり ・ハイキング ・健康スポーツ教室 ・生活習慣病予防料理教室
活動に対する方向性	・コミュニティは健康に対する啓発的な活動を行い、実際に参加したい人達にスポーツクラブ 21 やいきいき百歳体操を紹介する窓口の役割をする。 ・いきいき百歳体操やラジオ体操など簡単な体操を実施し、周知や参加を呼び掛ける。 ・子どもがいる家族をターゲットにしてハイキングを開催する ・健康等の講話と一緒に調理が簡単な料理教室を実施する。 ・福祉部と健康部の企画の共通点があるので、企画(目的・テーマ)を検討する。 ・健康維持と増進を目的にしつつ、地域のお宝探しや付加価値を付けるなど、楽しい企画を検討する。	

基本目標		⑥花と緑があふれるきれいで快適なまち
良い点		・公園の整備は植栽団体や自治会と協力して整備がされている。 ・公園が多い、公園が地域の宝物 ・地域内には緑が多くある。…社寺周辺の自然林、駅前花壇、四季折々の風景、田畑 ・ファミリープランター事業を通して、若者・子育て世代が参加できる場としている ・宝塚市オープンガーデンフェスタに参加 ・阪急小林駅前には花壇整備活動により、美化の改善が見られた。 ・小林地域の公園は、地域の老人会が年2、3度除草整備をしている。
課題	自然	・レッドデータブックにのる、希少種もあるが、行政や自治会、小林聖心女子学院との連携が不可欠である。
	花壇	・花壇整備はスタッフの負担も大きく、活動が縮小傾向である。 ・花壇は生き物なので、手が離せなかったり、自然災害や天候不順などで維持が難しい。 ・緑化活動団体が交流する機会がない。 ・ファミリープランター事業を地域活動の次世代育成の事業モデルとしていきたい。
	美化	・動物の糞尿問題があり、美化が損なわれている。 ・地域猫の活動をしている自治会があるが、知られていない。 ・防犯カメラの死角からゴミの不法投棄がされている。
アンケートより		【どんなまちになったら良いか？】 ・自然があるまち、花につつまれたまち(小学生、保護者、自治会) ・ゴミがないまち…ポイ捨て・犬猫の糞尿がない、ゴミの分別ができる(小学生、保護者、自治会) ・各公園がきれいに残っている、散歩が楽しい公園(保護者、自治会)
現在の活動	地域	・各所での花壇除草整備 ・宝塚を美しくする市民運動(市民一斉清掃)
	他団体	
	コミュニティ	・寄せ植え講習会の開催 ・小林駅前花壇の整備、ファミリープランター事業の実施
活動に対する方向性		・緑化活動を地域デビューの窓口としていき、次世代の育成をしていく。 ・これまで、花壇整備に特化した活動以外の環境美化という観点から活動ができていなかったが、今後は活動を検討していきたい。 ・まちかど清掃の検討においては、まず、各団体が取り組んでいる清掃活動に参加し、現状を把握すると共に各団体との交流を行う。 ・貴重な緑地環境などの現状を調査し、情報発信を行う。